

(本 社)	甲府市増坪町74	TEL055-241-3151	FAX055-241-8530
(営業所)	上野原市新田661	TEL0554-62-3321	FAX0554-62-3322

春まだ浅く朝夕はまだ寒い日々が続いておりますが、ご機嫌いかがでしょうか。いつも弊社をご愛顧頂き誠にありがとうございます。
今回は家庭や職場、家電、機械、建物、車、電車等々どこにでも使用されているねじ(螺子、ボルト)について歴史を調べてみました。興味がありましたら一読お願い致します。

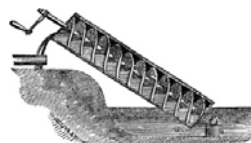
業務部 功刀

<編集者>
塚原 佳由
望月 博隆
小林 龍也
村松 貴
赤本 健三
山田 幸平

鋼種 Q & A ~ねじの歴史について~

漢字で「螺子」(ねじ、らし)あるいは「捻子」「捩子」「根子」と書かれることがありますがJISでは「ねじ」が正式な呼称になっています。

ねじの起源は尖った巻貝だと言われています。最初の造形物はアルキメデスの揚水ポンプ(写真①)(紀元前250)だと考えられております。日本人が最初のねじとして見た物は1543年に種子島に漂着したポルトガル人が携えていた、2挺の小銃の銃底をふさぐ為の「尾栓」とそれがねじ込まれる銃底の「めねじ」であるとの事です。金属製のボルト、ナット、小ネジは15世紀後半には登場しており18世紀には金属の丸棒に精密ねじを切り始めました。その後1830年頃イギリスのヘンリー・モーズレイが思いのままにねじが切れるねじ切旋盤(写真②)を発明し、ねじ生産の基礎ができてきました。



写真①



写真②

ねじ(ボルト)の種類・・・六角ボルト、六角穴付ボルト、なべ小ねじ、皿小ねじ、平小ねじ、丸皿小ねじ、長ねじ(寸切り)、アイボルト、六角穴付止めねじ、プラグネジ等があります。

ねじの種類の記事・・・M.メートル並目ねじ、M.メートル細目ねじ、R.管用テーパネジ、Wインチネジ、UNCユニファイ並目ねじ、UNFユニファイ細目ねじ、Trメートル台形ねじ等です。
ねじの材質・・・鋼、ステンレス、真鍮、アルミ、樹脂、チタン、マグネシウムがあります。

寸法・・・メートルねじとしてはM1.2~M76(インチもあり)が規格となっているようです。しかしねじ切り工具がすすんでいる昨今では無限大ではないでしょうか。微細ねじとしてはM1.0以下でSO.6~SO.8(1.0以下は呼称としてMでは無くSO、Oと呼ぶ)等販売されていますが、今では極小ねじ切工具で0.1のねじ製作は可能のようです。現在は携帯電話から大型貨物船までどこにもねじ、ボルトは必需品です。歴史をひも解いてみましたが、まだまだ調べる事はいっぱいあります。また次回にて。

★社長のワンポイント★あっという間に一ヶ月。時間の経過年度末に入り行政機関も慌ただしくなって予算関係等々の消化、道路関係も少しは動いている様子です。さて、米中経済戦争のあおりで世界経済に不安要素をばらまいて、決着がまだまだ見えてこない昨今、市場はアメーバのように動いています。5Gは勿論次世代の動きが逆に速い感じが致します。日本政府が業界と音頭をとりながら規格段階で世界に発信するということ。今まで日本の製造業は世界規格という部分お任せで動いてしまいが、後から付いていく動き。これを止めて先達となって発信する。本当に良いことだと思います。日本のものづくりの原点は創り出すということが出来る国ということ。開発がしっかり出来るという国であったはずです。SONY・Panasonic・SHARP全て開発型・研究型で世界発信して製品が出来上がっていました。βビデオ・ウォークマン・液晶テレビ。山梨の市場はその先を動かせる先端企業がある地域。この世界経済の中での立ち位置はどこよりも早く波の乗れること。低迷している景気動向ですが、底打ち感が出ています。立ち上がりに対してどう対応するのか、どのようなことをお客様に提案できるのか、どうしたら・・・。業界動向をしっかり把握しながらお客様に良き仕事出来るように努めていきたいと思っております。当社53期目に入りました。長年当社に対して御貢献にしていたいただき本当に感謝でございます。次の時代に繋がるように精進して参ります。今後ともよろしくお願い致します。

★国中エリア 塚原★

今年もインフルエンザが流行っているようなので、帰宅後の手洗いやうがいはいしかり行い、体調管理を万全にして下さい。国中の1月状況ですが、半導体関係ではTELさんの宮城工場が山梨工場よりも稼働が良く動いていると聞きますが、全体的な部分で見るとまだまだ低迷している感は否めないと感じます。車、トラック関係では、メーカにより差が生じているようですが、稼働はそこそこあるようです。切削メーカでは、まだまだ低迷状況を脱出出来ていないようで、メンテナンスをメインに動いているようです。不安な状況が続いていますが、常に新しい情報をお届け出来るよう頑張っていきます。

★郡内エリア 望月★

今年もインフルエンザが流行り、中国では新種の肺炎が流行りつつあるようです。皆様におかれましては体にも気をつけて下さい。郡内の状況ですが、12月と変わらないのが現状です。半導体は台湾企業の受注で3月まで仕事があるそうですが、4月以降の予定は未定と発表したそうです。工作機械では、新商品の売り込みをしているそうですが、変わらずといった感じです。食糧品関係では、先月から製造スタートで動いております。トラック関係は現状維持が続いております。プレス関係は好調で動いているそうです。全体的に厳しい状況は変わらずで自動車関係が動いている分、目立つ感じですがT社の一人勝ち感があります。世界情勢、今後の山梨の製造業の動向を見つつ、皆様に情報を提供できればと思います。

★上野原エリア 山田★

冬本番となり、寒い日が多くなりましたが体調管理には気を付けて頂きたいと思えます。動向ですが、年明けに半導体関係は多少の増加があった様でしたが、在庫がなくなり補てんの為の仕事が出てきたようです。しかし、4月以降の仕事が未定と話されているお客様も多く、まだまだ安心できない状況です。自動車関係も新しい仕事はまだ出ていない様で厳しいとお話を伺いました。東京、埼玉、神奈川方面も状況は変わらず、仕事量の少ない状況が続いているようです。しかしながら、米中貿易摩擦の動きが落ち着き、先送りになっていた仕事動き出したお客様も増えてきたので、今後の動向にしっかりと目を向けて、良い情報をお伝えできればと思います。